

2019年12月2日
株式会社クライミング
品質保証グループ

ビュレット活栓部液漏れについて

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は弊社製品のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、ビュレット活栓部からの液漏れについてお問い合わせをお受けいたしましたので下記のご説明文をご一読頂ければと思います。

敬具

まず、ご使用前の事前の対策として、ビュレットに液を入れている時間は出来るだけ短時間にしていただき、液を入れたままの放置は避けて下さい。

液漏れの原因の多くは、本体ガラス面と活栓の摺動面に、塵や薬品の固形物等が入り込み微細な隙間が生じているケースです。もしくは、アルカリ性の薬品溶液での長期に渡る腐食です。例として、水酸化ナトリウムなどを入れたまま放置するとガラス管内部が腐食され目盛公差が大きくなったり、液漏れの原因となります。

弊社製品検査では、より厳しい内容で且つ使用状態での全数検査を実施し出荷しております。お客様には、ご使用の際、適切なメンテナンスを行って頂ければ、液漏れを少なくすることができ、長期に渡ってご使用出来ると思われます。

実際に活栓部から液漏れした場合は、活栓部に塵、ホコリ等の付着が考えられますので、下記の手順にそって本体及び活栓の洗浄を行って下さい。洗浄することにより、液漏れを押さえる事が出来ます。

- ① ビュレット本体から活栓を取り外して下さい。(※取り外しの際及び洗浄の際は、破損しないよう十分に気を付け、保護用の手袋等をご使用下さい。)



- ② ガラス活栓の場合、活栓表面に付いているワセリンもしくはシリコングリース等を拭き取って下さい。



- ③ 中性洗剤にてビュレット本体及び活栓の洗浄を行って下さい。

- ④ 洗浄した物を十分に乾燥させ、組み上げを行って下さい。

その際、塵、ホコリが付着して無いかの確認を行い、ガラス活栓の場合には、少量のワセリン又はシリコングリースを活栓の穴を中心とし、左右に付けて、指で1往復延ばした後、ビュレット本体に差し込み、活栓を回して全体になじむように薄くのばして下さい。（※シリコングリースを塗り過ぎると液漏れの原因となります。）

テフロンコックの場合も同様に、塵、ホコリの付着がないか確認を行い、ネジはコックがスムーズに回る最大限まで締めて下さい。あまり締め過ぎるとコックの形状変化により液漏れの原因となります。



- ⑤ ビュレットに液を入れ、液漏れのチェックを行って下さい。

活栓部の洗浄を行っても、もし液漏れがおさまらない場合は、ご連絡を下さい。

製品をお送り頂く事にはなりますが、弊社で確認を行います。

（※但し、漏れ量は J I S 規格で活栓を閉じて予備容量に相当する体積の水を満たしたまま 5 分経過する間に、体積の許容誤差に相当する体積以内となっています）

弊社の製品は、ご購入時、取扱説明書が付属されておりますのでご使用前にご一読頂けます様、宜しくお願い致します。

今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。